

令和6年度 高根沢町教育委員会（5月）会議録

会議の日時	令和6年5月22日（水） 開会 午後4時30分 閉会 午後6時40分	場 所	高根沢町農村環境改善センター 2階 研修室
教育長及び出席委員の氏名	(教育長) 坂本 美知夫 (委員) 野中 直子 中野 謙作 齋藤 君世 佐藤 豪男	説明員及び書記氏名	(学校教育課) 課長 加藤 敦史 課長補佐(書記) 小林 賢治 課長補佐兼指導主事兼係長 平山 勇輔 係長 渡邊 正道 (こどもみらい課) 課長 齋藤 雅人 課長補佐 鈴木 郁子 (生涯学習課) 課長 石嶋 良憲 課長補佐 赤羽 康弘 係長兼社会教育主事兼指導主事 齋藤 洋一
欠席委員の氏名			
会 議 事 項			
<p>(1) 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高根沢町教育委員会点検・評価委員の委嘱について ② 高根沢町立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ③ 学校規模適正化の検討について <p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 令和5年度指定校変更許可及び区域外就学許可等の報告について ② 令和6年度就学援助の認定について ③ 高根沢町教育委員会の学校訪問について ④ 第三期高根沢町子ども・子育て支援事業計画の策定について <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教育委員会日程の変更について ② その他 			

議 事 の 経 過

坂本教育長	委員の出席は4名で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項による半数以上の出席を得ているため、教育委員会を開催します。 (あいさつ) 議事に入る前に、4月の教育委員会定例会の会議録を承認してよろしいか諮ります。
委 員	(異議なし)
坂本教育長	異議なしと認め、高根沢町教育委員会4月定例会の会議録を承認します。また、本日(5月)の会議録署名人に中野委員を指名します。書記については、学校教育課の小林課長補佐を指名します。 議事に入ります。審議事項①高根沢町教育委員会点検・評価委員の委嘱について事務局から説明をお願いします。
加藤課長	【説明要旨】 ・高根沢町教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検及び評価を実施する委員2名(任期2年)を委嘱するもの。
坂本教育長	本件について委員から意見等がありますか。
委 員	(意見等なし)
坂本教育長	意見等がなければ、審議事項①について承認してよろしいですか。
委 員	(異議なし)
坂本教育長	審議事項①高根沢町教育委員会点検・評価委員の委嘱について承認します。 続いて、審議事項②高根沢町立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について事務局から説明をお願いいたします。
加藤課長	【説明要旨】 ・学校給食に関する重要事項及び学校給食施設の運営について調査及び審議を行う高根沢町学校給食センター運営委員会の委員20名(任期1年)を委嘱するもの。
坂本教育長	本件について委員から意見等がありますか。
委 員	(意見等なし)
坂本教育長	意見等がなければ、審議事項②について承認してよろしいですか。
委 員	(異議なし)
坂本教育長	審議事項②高根沢町立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について承認します。 続いて、審議事項③の順番を後にして、先に報告事項を進めてまいります。 報告事項①令和5年度指定校変更許可及び区域外就学許可等の報告について、報告事項②令和6年度就学援助の認定については、非公開としてよろしいかお諮

議 事 の 経 過

	りします。
委 員	(異議なし)
坂本教育長	異議なしのため、報告事項①、報告事項②について非公開とします。
加藤課長	(非公開) 報告事項①令和5年度指定校変更許可及び区域外就学許可等の報告について、 報告事項②令和6年度就学援助の認定について → 承認
坂本教育長	非公開を解除します。 続いて、報告事項③高根沢町教育委員会の学校訪問について事務局から説明をお願いします。
平山指導主事	【説明要旨】 ・今年度の高根沢町教育委員会の学校訪問として、東小学校(11月)、にじいろ保育園(12月)、阿久津中学校(1月)を訪問する計画について説明。
坂本教育長	本件について委員から質問等がありますか。
野中委員	私立・民間の保育園等を訪問することは可能でしょうか。
齋藤課長	可能であるか確認して次回定例会にご報告します。
坂本教育長	そのほか質問等がなければ、報告事項③について承認してよろしいですか。
委 員	(異議なし)
坂本教育長	報告事項③高根沢町教育委員会の学校訪問について承認します。 続いて、報告事項④第三期高根沢町子ども・子育て支援事業計画の策定について事務局から説明をお願いします。
齋藤課長	【説明要旨】 ・第三期高根沢町子ども・子育て支援事業計画の策定経緯、位置づけ、計画期間(R7～R11年度の5年間)について説明。 ・計画策定に当たり、「高根沢町子ども・子育て会議」を開催して審議すること、各施設・サービスについての保護者の利用希望の把握のほかR5年度に実施した「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」の結果を計画に反映すること、策定スケジュール(案)などについて説明。
坂本教育長	本件について委員から質問等がありますか。
佐藤委員	この件に関連して、町内で妊娠・出産をする方への支援や事業が特に重要だと感じており、不妊治療の支援や出産までの支援に関する町の取組について、後で説明をしていただければありがたいと考えています。
齋藤課長	町でどのように取り組んでいるかについては、後日資料にまとめてご説明いたします。また、第三期の子ども・子育て支援事業計画にどのように盛り込んでいく

議 事 の 経 過

	かについては、先ほどの説明のとおり、「高根沢町子ども・子育て会議」の中で検討してまいります。
坂本教育長	そのほか質問等がなければ、 報告事項④ について承認してよろしいですか。
委員	(異議なし)
坂本教育長	報告事項④第三期高根沢町子ども・子育て支援事業計画の策定について承認します。報告事項は以上です。 それでは、ここで審議事項に戻ります。 審議事項③学校規模適正化の検討について事務局から説明をお願いいたします。
小林課長補佐	【説明要旨】 ・①小規模特認校制度について、②県内の義務教育学校一覧、③小中一貫教育のメリット・デメリット、④教職員の配置人数の想定（統合した場合のシミュレーション）などについて参考資料をもとに説明。
坂本教育長	本件について、まず資料説明についての質問等がありますか。
齋藤委員	教職員配置人数のシミュレーションについてですが、統合によって町の教職員人数の配置人数が減った場合に、配置にならなかった教職員はどうなるのか、加配の教職員として付けてもらえるのでしょうか。
坂本教育長	この場合、本町への加配とはなりませんので、他市町に配置になると考えられます。 続いて、小規模特認校制度についてもご意見ををお願いします。
中野委員	教職員配置人数のシミュレーションについては、児童数を教職員数で割ってみると、教員1人当たりが見ることになる児童数の目安が分かると思います。 小規模特認校制度に関する検討のポイントは、この制度の成果と課題を、統合後の東小学校にどのように“反映していくか”、目に見える形はなかなか難しくとも、“反映していく形を作っていくか”に尽きると考えています。
坂本教育長	小規模特認校制度を導入した当初の目的は複式学級を解消することにあります。仮に4校を2校に統合した場合には、複式学級は生じないと想定されますので、小規模特認校制度を実施する目的はすでに失われていることとなります。ただし、小規模特認校制度での教育のノウハウは、統合後も残していくことができるのではないのでしょうか。例えば、在籍校より規模の小さい別の学校への通学を選択できるような制度を作ることは可能だと思います。
野中委員	学校規模適正化検討委員会の答申書では、望ましい学校規模を実現していくべきと示されています。段階的統合で4校を2校にしても望ましい学校規模にはならないので、次の段階で1校に統合しなければ、答申書の示す望ましい学校規模に

議 事 の 経 過

	<p>なりません。この「次の段階」がいつになるのかが示されておらず不透明なままでは、保護者は不安であり理解を得られないと思いますので、答申の考え方に立ち帰って、1回で4校を1校にする方法がいいのではないかと思います。北中を増改築するなどの工夫により、東小・北中の小中一貫校に小規模校を集約することができるのではないのでしょうか。</p>
坂本教育長	<p>基本計画の素案の検討が進んで、基本計画の本案としていく際には、段階的統合方法における「2段階目の統合」を、いつ・どのように進めるかを想定し、そのスケジュール等を基本計画に記載したいと思います。</p>
野中委員	<p>段階的統合により、東小・北小に統合した場合、その後また統合するとなると、一時的なものだからという気持ちになってしまい、東小・北小における「特色ある小規模ならではの教育の実践や取組」が、上手くいかないのではないのでしょうか。1回で統合した方が、みんなで新しい学校を作っていこうという、希望の持てる統合になると思います。統合時期を遅らせてでも、じっくりと検討して1校にしてはどうでしょうか。</p>
齋藤委員	<p>費用の面から考えると、北中を大規模に改修するのに相応の費用がかかるのであれば、改修ではなく、将来的な統合小学校の建設に予算をかけた方が合理的であって、子ども達の教育に予算をかけていくことができると思います。</p>
佐藤委員	<p>前回の協議では、東小・北中の小中一貫校に小規模小学校4校を集約することは、教室数が足りず、設備的に難しいということだったかと思います。</p> <p>小規模特認校制度については、私の理解が足りてないのかもしれませんが、これまでの利用者の人数や、学校評価でのアンケート結果等に賛否両論の意見があることを見ると、本当に理想的なよいものであるのか、少し疑問に感じているところです。</p> <p>私個人の意見としては、教育の青写真を抜本的に見直しして、北中学区については、東小・北中を義務教育学校として小中一貫教育を推進し、高根沢町ならではの新しい教育を打ち出していく必要があるのではないかと考えています。新たな町の教育ビジョンが求められていますので、大きく舵を取る時期なのではないかと思えます。</p> <p>2段階の統合方法については、子ども達が2回転校を経験することになるのはあり得ないのではないかという意見を保護者からも聞いています。</p>
坂本教育長	<p>素案でも考え方を示していますが、段階的統合の場合、1回目の統合から2回目の統合までの期間は、同じ子どもが2回転校することになるような短い期間での統合は考えていません。</p>

議 事 の 経 過

齋藤委員	<p>いったん整理したいのですが、何を指すのか、どうなっているのが一番いいのかに視点を戻して考えられればと思います。</p> <p>最終的に1校にすることで望ましい教育環境になるということだと思いますので、仮に、最終的に目指す1校の見通しとして、どこの学校跡地に建てるのか、新たな場所に新設なのかの目途があれば、戸惑いが少なく、先が見えてくるのではないかと感じました。それが示されていないために、「最終的に目指しているところ」が説明しづらくなっていると思います。</p>
坂本教育長	<p>ここでの議論・協議については、総合教育会議で提示して議題とする予定となっておりますが、進捗の状況を踏まえ、6月から7月に総合教育会議の開催時期をずらすことになりました。教育委員会定例会での協議内容を7月までに集約していきたいと思います。</p>
中野委員	<p>教育長自身のお考えでは、段階的統合の第1段階と第2段階の間の期間は、どの程度必要と想定していますか？</p>
坂本教育長	<p>間の期間としては、少なくとも10年程度の期間が考えられるのではないのでしょうか。最終的に1校になるまでに十数年かかるという考え方です。</p>
野中委員	<p>十数年は長すぎるのではないのでしょうか。</p>
齋藤委員	<p>見通しができるのであれば、いいことだと思います。</p>
中野委員	<p>最も老朽化している中央小学校の改修予定はどのようになっていますか？</p>
加藤課長	<p>大規模な改修が必要な時期を迎えるのは、中央小学校と上高根沢小学校です。これらのハード整備の課題も、統廃合を進めることになった背景であると認識していますが、公聴会等ではソフト面での検討が不十分であったとのご指摘を頂戴していますので、ここでの協議では、ソフト面についても十分にご協議いただければと思います。</p> <p>なお、十数年といったスパンの計画の場合、児童数の減少状況の変化であるとか、様々な要因で計画の見直しが必要となってくるのは当然のことですので、今すべてが決定していなくてはいけない、変更ができないという考え方ではありません。</p>
坂本教育長	<p>それでは、本件については、次回引き続き協議してまいります。次回までに改めて論点の整理をして提示したいと思います。</p>
委員	<p>(了承)</p>
坂本教育長	<p>続いて、その他①教育委員会日程の変更について事務局から説明をお願いします。</p>
小林課長補佐	<p>【説明要旨】</p>

議 事 の 経 過

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 月、10 月、12 月の教育委員会定例会日程の変更について、また、総合教育会議を 6 月から 7 月開催に変更して日程調整中であることを説明。
坂本教育長	<p>続いて、その他として、事務局から何かありますか？</p>
小林課長補佐 平山指導主事 石嶋課長 斎藤指導主事	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれ担当から事務連絡、情報提供等
坂本教育長	<p>本日の議題は以上となります。</p> <p>次回の教育委員会は令和 6 年 6 月 19 日（水）、13 時 30 分からの開催を予定しています。</p> <p>以上をもって、教育委員会を閉会します。</p>

教育委員会会議規則第 20 条の規定により、署名する。

令和 6 年 5 月 22 日

教育委員会委員